

会 報

事務局

北海道千歳高等学校

〒066-5801

千歳市北栄1丁目4-1

TEL 0123-23-9150

FAX 0123-23-2742

~~~~~ 卷 頭 言 ~~~~~

「多様な生徒へ向けた定通教育活動の充実」

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会長
北海道有朋高等学校副校長 高橋 昌 宏

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の皆様には、平素より当部会の運営、並びに諸事業の充実・発展にご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。また、北海道教育委員会、北海道高等学校長協会を始め関係諸機関からの多大なるご支援並びにご指導に対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、文部科学省では、全日制・定時制・通信制の望ましい在り方など、これからの高等学校の在り方全般に関して、令和4年10月より中央教育審議会の下に設置された「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」において検討を行い、令和5年3月には論点整理が取りまとめられました。その中では、いずれの課程にあっても、ICTの活用等により、多様な生徒に対してきめ細かく支援し、いつでも・どこでも・どのようにでも学ぶことが等しく認められるようにするなど、それぞれの生徒の状況に応じた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を目指していくことが重要であることが言及されています。

この実現に向けて、今後、定時制においては、不登校等の多様な生徒が学びを続けて卒業することができるよう柔軟で質の高い学び方を可能とし、通信制においては、どの学校においても生徒が人間関係を築きながら、自己の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働する機会を充実させていくことなどを通じて、生徒が自立した学習者となり、その後社会で必要な資質・能力を身に付けられるようにしていくことが重要になると考えています。

令和6年2月、北海道教育委員会が推進する「定時制・通信制パワーアップ事業」において、研究協議会が開催（オンライン）されました。帯広柏葉高校と有朋高校の2校が、学校外の教育資源と連携体制を構築し、多様な生徒の学習ニーズに応える特色ある教育実践について丁寧な紹介がなされました。多様な学習ニーズに応じてより一層きめ細かく対応していくために、ICTや関係機関との連携等、定通教育の現場における課題解決に向けた指導方法等の在り方と見直しについて、示唆に富む大変充実した内容でした。こうした一人ひとりの生徒を守護とした高等学校教育の実現に向けて、それぞれの各高校が持つ柔軟性を最大限に生かした取組に今後も期待するところです。

結びになりますが、4年ぶりに集合形式による定通部会総会を開催し、ほぼコロナ以前の状況と同じ事業活動が予定通り行うことができました。定通教育に係る課題を、自校のみで解決することは困難であり、他校での取組の中に解決への手がかりを見つけ出すことのできる本会ネットワークは、小さくない力を有していると思っています。この1年間の会員の皆様のご支援ご協力に深謝申し上げ、巻頭の辞とさせていただきます。

定時制・通信制教育の一層の充実に向けて

北海道高等学校長協会 定通部会長
(北海道有朋高等学校長)

阿部 穰

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会の皆様には、日頃より本道高等学校の定時制・通信制教育の充実にご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、季節性インフルエンザ並みの「5類」となったことを機に、学校生活においても、コロナ以前の日常を徐々に取り戻して参りました。一方で、このコロナ禍の3年間は、高等学校では感染症対策とともに新学習指導要領の実施、観点別評価の導入、教育のDX化推進等、待ったなしの取組と向き合いながら、学校そのものの在り方を問い直す動きが加速した期間でもありました。

こうした中、定時制・通信制課程においては、様々な生い立ちや環境で育ってきた生徒たちが、学習や諸活動に取り組むなど、地道にかつひたむきに高校生活を過ごしてきました。その成果を校外で発揮する機会が、定通体連や高文連の大会、生活体験発表大会などであり、私も今年度から本格的に復活した各種大会の様子を、各地で見参りました。

教育実践面では、北海道教育委員会の定時制・通信制パワーアップ事業の一環として帯広柏葉高校と有朋高校が、定時制通信制振興会での研究発表として小樽潮陵高校と日高高校が、地域や関係団体等との密接な連携体制を構築し、生徒の多様なニーズに応える特色ある取組を紹介してくださいました。入学者の多様化が進み、一人一人の抱える課題も様々なものとなっている中、各学校にとって大変参考になる実践事例だと思えます。

各学校においては、これまでも少人数という特色を活かしたきめ細かな指導の充実を図るとともに、定通併修や学校間連携による教育課程の拡充、三修制の拡大、地元企業と連携したキャリア教育の充実など、様々な取組を進められているところであり、その中心となっておられる副校長・教頭の皆様に敬意を表する次第です。今後も、さらなる少子化の進行と入学者の多様化が予想される中、既存の取組を一層充実させるとともに、ICTの活用や地域の教育資源を活かした取組を進めるなど新たな対応も求められており、皆様のご努力により、活力ある教育活動が展開され、定時制・通信制教育の一層の充実が図られることを心から期待しております。

最後になりましたが、本部会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念し、発刊に当たっての挨拶とさせていただきます。

令和5年度 事業報告
北海道高等学校教頭・副校長会定通部会事務局長
北海道千歳高等学校 教頭 中 條 尚 志

日頃より事務局の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度の事業は皆さまのおかげを持ちまして、予定されていた事業をほぼ滞りなく実施することができました。心より感謝申し上げます。

● 北海道の事業報告

No.	期日	事業計画	内容及び出席者
1	令和5年 5月24日(水)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事会 総会・研究協議会	内容：事業・会計報告、事業計画、予算案審議 研究協議 (出席者:37名)
2	5月24日(水)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	内容：報告事項、事業計画、予算案審議 当番校：札幌大通高等学校 (出席者:37名)
3	6月5日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	内容：総会、表彰、研究協議 (出席者:60名) 当番校：北海道有朋高等学校
4	10月2日(月)	◆第55回北海道高等学校給食研究協議会北海道 大会	内容：講演、研究協議 当番校：北海道札幌工業高等学校
5	10月31日(火)	◆第67回北海道高等学校定時制通信制生徒 生活体験発表大会	内容：生徒生活体験発表 当番校：北海道札幌南高等学校 札幌市「かでる2.7」各支部代表12名参加
6	令和6年 3月上旬	◆令和5年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容：調査研究 「新時代に対応した高等学校の教育について」

● 全国の事業計画

No.	期日	事業計画	内容及び出席者
1	令和5年 5月9日(火)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	宮城県美田園高等学校(宮城県名取市) 出席者：有朋高校より2名
2	6月2日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) 出席者：事務局長 1名
3	6月15日(木) ～16日(金)	◆第75回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	京都府(場所：京都府民総合交流プラザ) 出席者：有朋高校より 計6名
4	7月27日(木) ～28日(金)	◆第74回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会総 会・教育研究協議会(全教協大会)	場所：山梨県立図書館(山梨県甲府市) 出席者：部会長、苫小牧東教頭 計2名
5	8月3日(月) ～4日(火)	◆第74回全国高等学校定時制通信制教育振興会大会(全振 大会)	岡山県(場所：ピュアリティまきび) 出席者：有朋高校より1名
6	10月26日(木) ～27日(金)	◆令和5年度第75回東北・北海道地区高等学校通信制教育 研究会総会・研究協議会(北海道大会)	場所：カナモトホール 出席者：23校・96名参加
7	11月19日(日)	◆第71回全国高等学校定時制通信制生徒 生活体験発表大会	六本木ヒルズハリウッドプラザ(東京都) 【文部科学省初等中等教育局長賞】 札幌工業高校定時制 滝川高校定時制
8	12月1日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) 出席者：部会長、事務局長 計2名
9	12月14日(木) ～15日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	山形県立霞城学園高等学校(山形県山形市) 場所：山形県立霞城学園高等学校 出席者：部会長 1名

支部だより

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会

後志支部

北海道小樽未来創造高等学校 佐藤 靖敏

1 後志支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会后志支部は、北海道苫小牧潮陵高等学校（道・併）、北海道小樽未来創造高等学校（道）、北海道ニセコ高等学校（町）、北海道真狩高等学校（村）、北海道留寿都高等学校（村）の5校で構成されています。夜間定時制2校、昼間定時制3校の各学校は、地域の特性を最大限に生かし、多様な生徒に対応した教育課程を編成し、生徒に寄り添った教育を実践しています。

後志支部の活動として、定通体連支部大会や生徒生活体験発表大会等の運営を中心に活動しています。

2 支部関連事業

(1) 令和5年度(2023年度)北海道高等学校定時制通信制体育連盟後志支部大会

ア バドミントン（男・女）

期日 令和5年5月27日（土）

会場 北海道真狩高等学校

イ 卓球（男・女）

期日 令和5年5月27日（土）

会場 北海道留寿都高等学校

ウ バスケットボール（男・女）

期日 令和5年5月27日（土）

会場 北海道ニセコ高等学校

エ バレーボール（男・女）

期日 令和5年5月27日（土）

会場 北海道潮陵高等学校

※ 対戦校なしのため実施せず。

(2) 第67回管内高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期日 令和5年9月12日（火）

会場 北海道留寿都高等学校

参加 北海道小樽未来創造高等学校1名

北海道ニセコ高等学校1名

北海道真狩高等学校1名

北海道留寿都高等学校1名

結果 最優秀 北海道真狩高等学校（全道）

優 秀 北海道留寿都高等学校

大会当日、豪雨の影響により北海道小樽潮陵高等学校は交通途絶のため残念ながら出場辞退を余儀なくされ、各学校の代表4名による発表が行われた。

いずれの発表も目を見張るものがあり、審査委員からは「過去から現在までをしっかりと捉えられており、今後の進みたい方向性も伝わってきた。」「高校が生徒たちの居場所になっていることが実感できた。」「多くの人前でしっかりと発表できていた。このことがどれだけ大変だったことかと感じた。」との講評をいただいた。

3 各学校の特徴

(1) 北海道小樽潮陵高等学校

歴史と伝統があり、外部人材活用によるキャリア教育など様々な取組を展開している。

(2) 北海道小樽未来創造高等学校

ものづくり教育を推進する管内唯一の工業学科（電気コース・建築コース）を置く夜間定時制高校。

(3) 北海道ニセコ高等学校

農業科学コースとグローバル観光コースを設置し、地域資源を活用した特色ある学習を展開している。

(4) 北海道真狩高等学校

有機農業コースと野菜製菓コースによる農業を中核とする産業人の育成を展開している。

(5) 北海道留寿都高等学校

全国唯一の農業福祉科設置校。文科大臣・厚労大臣指定介護福祉養成校。

4 まとめ

社会構造の変化や少子化の進行に伴い支部の各学校では入学生の確保に苦慮しています。各学校において、様々な問題を抱えた生徒や学習歴を持つ生徒のニーズに対応するため、各学校の特色を生かした教育活動の実践を行い生徒募集活動に尽力しています。今後も継続して後志支部5校の学校間で連携を大切にしていきたい。

支部だより

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会

日勝支部

北海道帯広柏葉高等学校 西村 直子

1 日勝支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会十勝支部は、北海道帯広柏葉高等学校、北海道日高高等学校の2校で構成されています。今年度も、定通体連支部大会や生活体験発表大会地区予選会の運営を中心に活動してきました。

2 支部関連事業

(1) 令和5年度(2023年度)北海道高等学校 定時制通信制体育連盟日勝支部大会

- ①期 日 令和5年5月29日(月)
- ②会 場 帯広の森体育館
- ③種 目 バドミントン、卓球
バスケットボール
- ④エキシビジョンマッチ 大縄跳び



大会は、参加生徒数133名(うち競技者は78名=帯広柏葉35、日高27、星槎国際16)で実施されました。男子バドミントン個人優勝・個人優勝は日高、女子バドミントン個人優勝・団体優勝が星槎国際、男子卓球団体優勝が日高、個人優勝が帯広柏葉、女子卓球団体優勝が日高、個人優勝が星槎でした。コロナ5類以降の大会として、3年ぶりに行われた交流戦は大縄跳びで、優勝は帯広柏葉でした。昨年度の競技生徒だけ入館の大会とは異なり、応援生徒も観客席に入って、賑やかな一日となりました。

(2) 令和5年度(2023年度)日勝支部高等学校定時制生活体験発表大会



- ①期 日 令和5年8月28日(月)
- ②会 場 北海道帯広柏葉高等学校
- ③参加数 北海道帯広柏葉高等学校 5名
北海道日高高等学校 5名
- ④成績 優 勝北海道帯広柏葉高等学校
準優勝 北海道日高高等学校 2名
北海道帯広柏葉高等学校 1名

十勝教育局高等学校教育指導班主査 黒宮茂樹様を審査委員長に招いての開催でした。一際暑かった帯広柏葉高校視聴覚教室では、定時制課程に在籍する生徒たちの熱い思いが語られました。

3 まとめ

定時制課程に在籍する一定数の生徒は、不登校を経験したり、多様な課題を抱えていたりします。定時制課程の利点を生かし大きく成長していく生徒も多くいます。その一助となる様に、ICTを活用する等して、日高・帯広柏葉の各校で取り組んだ地域連携の体験を生徒間で発表し合ったり、教職員間で授業の技術について合同で研修したり、活動を大切にしていきたいと思っています。

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会
道北支部

北海道旭川工業高等学校 猪股 康行

1 道北支部の概況

北海道高等学校教頭・副校長会定通部会道北支部は、北海道旭川東高等学校、北海道旭川北高等学校、北海道旭川工業高等学校、北海道旭川商業高等学校、北海道稚内高等学校、北海道幌加内高等学校、北海道士別東高等学校の6校で構成されています。

道北支部の活動は、定通体連支部大会や生活体験発表大会、年二回の教頭・副校長会定時制部会道北支部研究協議会などの活動を行っています。

2 支部事業

教頭・副校長会定時制部会道北支部研究協議会では、年二回の研究協議会を実施しています。今年度は、「生徒の実態に応じた教育内容・方法の工夫・改善の推進について」を研究テーマとして当番校の都合で、11月の一回のみの研究協議会となりました。北海道上川教育局主幹小林爲五郎様にテーマ「これまで、と、これから」で約一時間のご講演をいただきました。研究協議では、令和5年度事業報告や令和6年度事業計画、事務局・当番校、令和6年度北海道高等学校定時制通信制体育連盟全道大会当番校、各校の持ち寄った資料に基づき研究協議を進めました。北海道教育庁上川教育局教育支援課高等学校教育指導班指導主事 太田水生 様から指導助言をいただきました。

3 支部関連事業

(1) 令和5年度北海道高等学校定時制通信制体育連盟道北支部

期日 令和5年5月27日(土)

ア バドミントン

会場 北海道旭川東高等学校体育館

イ 卓球

会場 北海道旭川北高等学校体育館

ウ バスケットボール

会場 北海道旭川工業高等学体育館

バドミントンは、男子団体2校、男子個人5校18名、女子個人3校6名が出場しました。卓球は、男子団体3校、男子個人4校10名、女子団体1校、女子個人2校3名が出場しました。バスケットは男子1校が参加しました。参加生徒が減少傾向にあり、団体での出場が厳しくなっていますが、1年間の練習の成果を唯一発揮できる大会になっていますので、次年度以降も生徒の活躍の場として大

会運営に努めていきたいと思いを。なお、バドミントン女子個人で北海道旭川東高等学校の選手が全道大会を勝ち抜き、全国大会まで出場しています。

(2) 第67回道北地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

期日 令和5年9月8日(金)

会場 旭川市民文化会館小ホール

参加 北海道旭川東高等学校 2名
北海道旭川北高等学校 2名
北海道旭川工業高等学校 2名
北海道旭川商業高等学校 2名
北海道稚内高等学校 2名
北海道幌加内高等学校 2名

結果 最優秀賞 北海道旭川東高等学校

優秀賞 北海道稚内高等学校

優秀賞 北海道幌加内高等学校

生徒は各校を代表して、これまでの体験や高校生活、将来の夢や目標などについて堂々と発表しました。旭川市内の生徒は集合しえ聞くことができたが、昨年度から新型コロナ対策や遠方の高等学校の生徒のためZOOMでの配信を行っています。

4 まとめ

新型コロナが5類に移行したことから、各校ともほぼコロナ禍前に戻っての体制に戻ることができました。生徒は、不登校や特別支援など様々な課題を抱えていますが、卒業することを目標として日々学習や学校行事に意欲的に取り組んでいます。引き続き生徒たちのために各種事業等を推進していきたいと思いを。

北海道高等学校定時制通信制体育大会報告
北海道高等学校定時制通信制体育連盟事務局長
市立札幌大通高等学校教頭 勝田 敏正

令和5年度の事業につきまして、当番校をはじめ、関係各位のご尽力により、すべて滞りなく終えることができました。各支部事務局校をはじめ、当番校、専門委員の皆さまにおかれましては、春季支部大会、全道大会、秋季新人戦まで円滑に運営していただき、改めて心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今年度の北海道大会及び全国大会の成績につきましては、定通体連事務局のWebサイト（市立札幌大通高等学校 Web サイト内）に掲載(<https://www.odorih.sapporo-c.ed.jp/>)しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

今年度も北海道チームの活躍が目覚ましく、団体ではバドミントン男子が準優勝、バスケットボール女子で札幌大通高校が第3位。個人では卓球、板橋祐佳さん（飛鳥未来高校札幌校）が第3位、伊東美茜さん（有朋高校）がベスト8、柔道女子63kg超級で、泉明杏さん（飛鳥未来高校札幌校）が第3位に入賞するなど、定時制・通信制という恵まれない環境のもと、日々努力を重ねて精進した選手、そして指導にあたられた顧問の皆様に、心より敬意を表します。

道内では生徒数が減少し、それに伴う教員数の減少により、大会の運営が困難な状況もありますが、ご理解・ご協力をお願いする次第です。また、定時制通信制体育連盟の大会では記録や勝敗にこだわらず、スポーツを愛する心や目標に向かって挑戦すること、お互いの健闘をたたえあうことを標榜してきました。この理念のもと、健全な青少年育成を目指し、引き続き各校での部活動へのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

今年度も大変お世話になりました。次年度も、よろしく申し上げます。

第55回北海道高等学校給食研究協議会
理事総会・研究協議会及び北海道大会報告
北海道札幌工業高等学校教頭 田中 耕一

令和5年10月2日（月）に第55回北海道高等学校給食研究協議会理事総会・研究協議会及び北海道大会がホテルライフォート札幌にて開催され、全道から多くの給食担当者が参加した。

1 理事総会・研究協議会

(1) 報告事項

ア 令和5年度活動計画及び中間報告

イ 令和9年度までの役員構成輪番の確認

ウ 令和10年度までの研究発表地区輪番の確認

(2) その他

ア 給食研の活動について（意見交換）

2 第55回北海道大会

(1) 講演

講師 公益財団法人 北海道学校給食会
衛生管理室長 宮村 寧二氏

演題 『食品衛生の基本と管理について』

要旨 食の安全を監視・管理する背景から食品衛生と
食中毒の関係と学校給食の衛生管理について

ア 食品衛生監視員について

(ア) 検疫所での取組

(イ) 保健所での取組

イ 食品衛生について

(ア) 細菌とウイルスの違い

(イ) 食中毒の分類

ウ 衛生管理に伴う定期検査について

(ア) 学校給食設備等の衛生管理

(イ) 学校給食用食品の検収・保管

(ウ) 学校給食従事者の衛生・健康状態

(2) 研究発表

発表 北海道室蘭栄高等学校

教頭 加藤 明人氏

テーマ 『定時制給食における社会の変化への対応と
維持・存続』

要旨 現状から課題を整理し、学校給食の維持・存続に
向けた取組と成果

第67回北海道高等学校定時制通信制生徒

生活体験発表大会報告

北海道札幌南高等学校 教頭 松井 利慎

第67回北海道高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会は令和5年10月31日（火）に北海道立道民活動センターかでの2・7において開催しました。関係各位の多大なる御指導と御協力をいただき、無事終えることができました。心から感謝申し上げます。

当日は、全道9支部の定時制高等学校の代表者10名と通信制高等学校の代表者1名、そして、当番校枠として札幌南高等学校から1名、計12名の代表が集い、それぞれの貴重な体験を発表しました。秀逸な発表が続き、審査は困難を極めました。

その中で、「先が見えなく、不安があっても恐れず挑戦を続けていけば、いずれやりたいことは見えてくる」という思いを自らの言葉で力強く語った札幌工業高等学校の臼木風太さん、高校入学と演劇との出会いが、今までの自分を大きく変える転機となったことを先輩や先生への感謝を交えながら発表した滝川高等学校の星山琢磨さんの2名が道代表に選抜され、全国大会の出場権を獲得しました。

また、すべての発表が、参観した定時制・通信制の生徒、当番校として運営に携わった本校生徒および教職員等に感動を与えることとなりました。

審査委員長である札幌琴似工業高等学校長の宮岡勝郎様をはじめ5名による審査委員会では、各審査委員から教育的愛情あふれる講評をいただき、厳正かつ慎重な審査により各賞が決定されました。ありがとうございました。

本大会の詳細な内容につきましては、令和6年2月に全道の定時制・通信制の学校にお届けした「輝く青春」第57集に掲載していますので是非ご覧いただければと思います。

終わりになりますが、御協力をいただきました関係各位、全道の定通教育に携わっている全ての方々にこの場をお借りして感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。



【開会式】



【発表の様子】



【表彰式】



【全体写真】

定時制課程におけるICT活用
～小・中学校の学習の定着に不安を持つ生徒に対する、1人1台端末の活用報告～

定時制通信制部会調査研究部長（北海道札幌南高等学校） 松井利慎
北海道札幌南高等学校定時制課程教務部長 前川太郎

I はじめに

今年度、本校定時制課程では「ICTを効果的に活用した教育活動を推進し、教育の質の向上を図る」ことを重点目標としている。

入学生の特徴は、かつての“勤労学生”の入学は減り、“不登校経験者（表1）”や“全日制課程からの転・編入”など多様な学習歴を持つ生徒が増え、小・中学校の学習内容の定着に不安を持つ生徒が多い（図）。そのため、学校設定科目「ベーシックスタディ（1学年2単位）」を導入し、算数の学び直しを実施している。

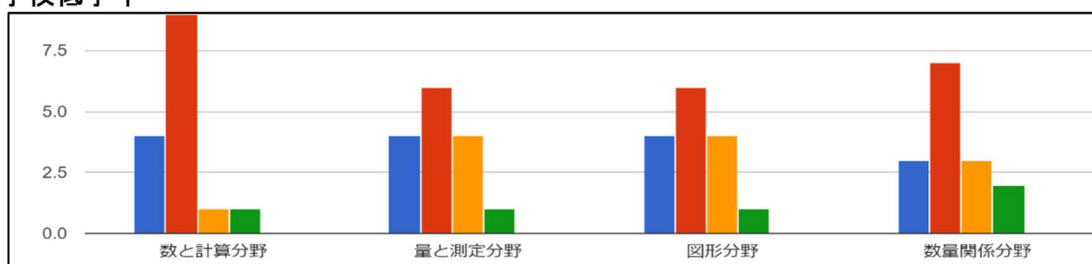
5月に行われた本会定通部会総会において、定時制高校におけるICT活用が喫緊の課題であるという声が多く上がり、調査研究のテーマとして「ICTの活用について」という提案があった。本校においても今年度の石狩教育局学校教育指導訪問で「ICTを使うことを目的とするのではなく、あくまでも生徒のコンピテンシーを向上させるツールとして活用することが望ましい」との指導助言があり、このことを踏まえて、今年度は本校での1人1台端末を活用した学校設定科目「ベーシックスタディ（1学年2単位）」における授業実践の成果と今後の課題について報告することとする。

（表1）本校入学生のうち、不登校経験者（年間30日以上欠席）数および中学校3年間の欠席日数

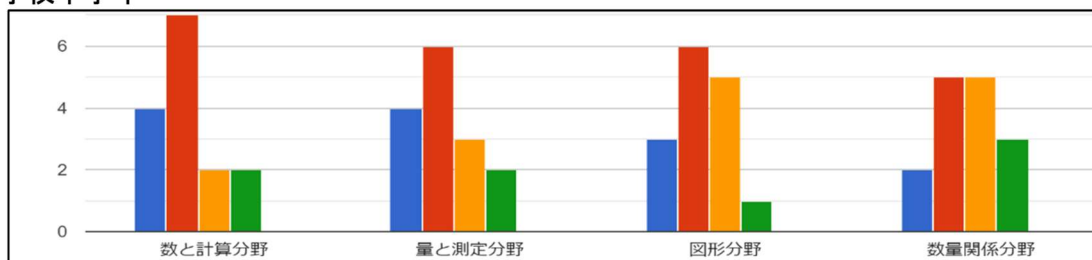
	経験者	入学生	%	～100	～200	～300	～400	～500
令和4年度入学生	21	26	80.8	7	9	3	2	5
令和5年度入学生	14	22	63.4	1	3	2	1	7

（図）小中学校時の意識調査（数学）

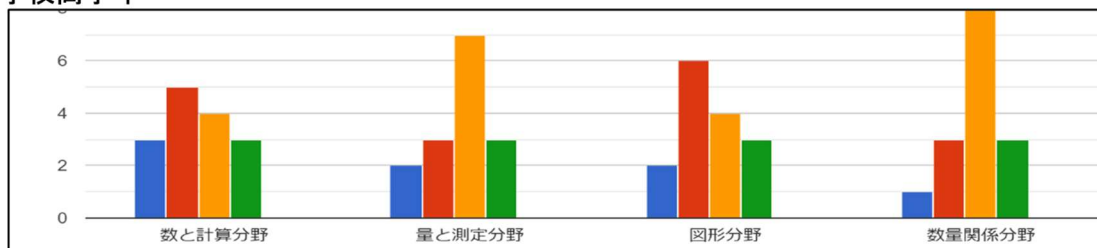
凡例：左から ■得意 ■分かる ■分りにくい ■分からない ■その他
小学校低学年



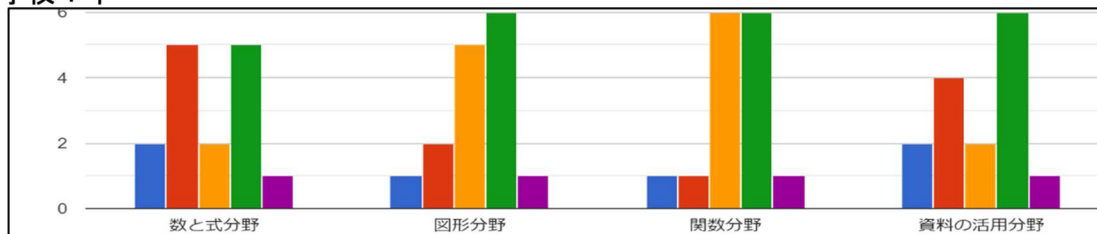
小学校中学年



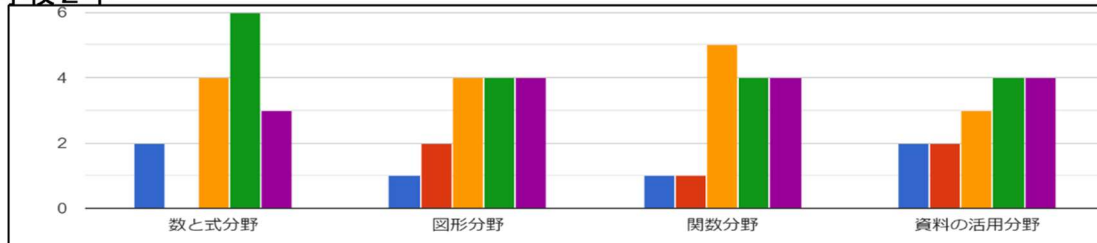
小学校高学年



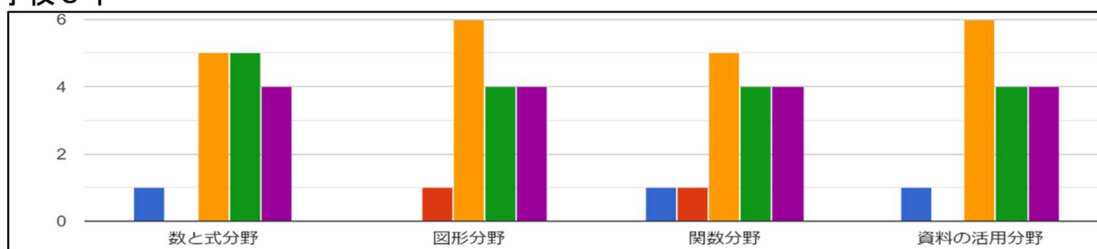
中学校 1年



中学校 2年



中学校 3年



II 授業実践について 授業者 前川 太郎

1 目指すべき姿及び方法

目指すべき姿	方 法
(1) 個別最適な学び	①指導の個別化 ・単元毎に学習進度と到達度を、Google スプレッドシート※1に入力させる。 ・進捗状況に応じ、個別に「単元テスト」や「まとめテスト」に挑戦させる。 ・テストは、その場で採点し、誤答は解き直しさせる。 ②学習の個性化 ・進度を生徒自身に調整させる。(学び直し教材『東京書籍ラレゴ』を使用) ・単元によって、グループワークで学習するか1人で学習するか選択させる。 ・1時間毎に「できるようになったこと」と「先生に伝えたいこと」を、Google フォーム※2に入力させる。 ・学習アプリやポータルサイトを活用させる。

(2) 協働的な学び	<ul style="list-style-type: none"> 任意のグループを作り、対話によって課題を解決させる。 教員や他のグループへのヘルプに Google チャットを活用させる。
------------	--

(※1 Google スプレッドシート)

6		礼南 太郎		でき具合の段階	
		5	自分の力だけで簡単に解けた		
		4	自分の力だけで難しかったけど、解けた		
		3	調べたり聞いたりして、自分で解けるようになった		
		2	調べたり聞いたりしながらなら、解くことができる		
		1	調べたり聞いたりしたけど、結局わからずに埋めただけだった		
#	単元	終わった日	でき具合	難しかった問題	先生や仲間はどうしてもらいたかったか
★	夏休み明けテスト	8/12			
8	除法(1桁,わり切れる)	8/24	5	無し	無し
9	除法(1桁,わり切れない)	8/24	5	無し	盆ミスに気をつけて欲しかった
10	除法(2桁,わり切れる)	8/28	5	2400÷80	0を消すことを忘れていた
11	除法(2桁,わり切れない)	8/28	3	8800÷30	0を消すことを忘れていた
12	四則の混じった式	9/7	4	10÷2×18	式の順番を間違えないようにしたい
★	単元テスト④	9/7	5	無し	
★	まとめテスト①	9/7	5	34×6	ケアレスミスに気をつけていきたい
13	小数の加法	9/12	5	無し	
14	小数の減法	9/12	5	3.62-1.83	計算の順番を間違えないようにしたい
15	小数の乗法	9/12	4	1.53×6.2	
16	小数の除法(小+整)	10/2	5	無し	
17	小数の除法(小+整)	10/5	5	無し	
18	小数の除法(小+小)	10/5	5	無し	
19	小数の除法(小+小)	10/13	3	45.3÷00.9	単位のミスに注意したい
20	小数の四則演算	10/23	4	(8.7-4.3)×1.3-0.2	計算の順番に注意したい

(※2 Google フォーム)

【主体性チェック】今日の授業で、どんなことができるようになったかを書いてください(無いなどは禁止)	(あればいいです)先生にこっそり伝えたいことがあったら書いてください。他の生徒には教えません。
一次方程式を解くこと。	ラレボ等でわからないところがあったりする時があるのですが、聞きに行きづらかったりします。
人に教えられるくらい理解を深められた	
分数の計算ができるようになった	
分数の計算、約分、通分のテストを終わらせて、理解出来るようになって、26番のページを終わらせました。	
-1があるときに1は消す、かける時は()をつけること	特にはないです。

2 学習評価について

前期末及び学年末に単元毎の観点別評価の総括を数値化し、平均して評定を5段階で表示する。

3 成果

(1) 個別最適な学び

ア 指導の個別化

- リアルタイムで学習進度・学習到達度を把握できたため、適切な指導につながった。
- あらゆる学力層の生徒に満足感を与えることができた。

イ 学習の個性化

- 自ら学習を調整する力を育成できた。
- 苦手な生徒に対し、ICTによって視覚的に解答の方法を理解させることができた。

(2) 協働的な学び

- ア 既存の人間関係の枠を超えて、問題が解けた生徒に教えてもらいに行く姿が見られるようになった。
- イ シナジー効果として、数学だけではなく学校生活での困り感もすくい上げることができ、必要に応じて関係者と共有したことで、教育相談の役割も果たした。

(3) その他

- ア どの生徒も主体的に取り組んだ。
- イ 4月・12月に実施した確認テストの結果

実施時期	受験者数	平均点	中央値	標準偏差
1学年 4月	17	16.9	18	11.4
1学年 12月	16	26.9	27	11.3

4 今後の課題

- (1) 各生徒の学習進度に大きな差が出ている。数学Ⅰ（本校では2学年から実施）に入る前に、単元ごとに期日を設け、中学3年までの範囲は終えて、全員で再スタートを切れるようにする。
- (2) より高い効果を求めるには、有料の学習支援アプリの導入を検討する必要がある。
- (3) 人と話すことやグループを作ることが苦手な生徒には支援が必要である。教員がメンバーを指定してグループを作る場面も設ける。
- (4) チャットでも対話でも質問できない、助けを求められない生徒が一部いる。きめ細かな支援が必要である。なお、Google チャットでの質問に対し、教員が気づかないこともあったので、机間巡視中も端末を持ち歩くようにする。
- (5) ICT機器に全く慣れずに悪戦苦闘している生徒が、本来の学びの時間を十分に得られない。教科「情報」との連携が必要である。
- (6) 学校から貸与された端末では自由にソフトウェアをインストールできない。生徒所有の端末は自宅で自由なインストールが可能であるため差が生じている。
- (7) 情報モラル教育が必須であり、教科「情報」や生徒指導部との連携が必要である。あわせて校内でも、身近な集合知である質問サイト、ブラウザ上で動作するソフトウェア等が積極的に利用されるようフィルタリングの弾力性が求められる。
- (8) 1人1台端末を用意できない生徒への端末貸与を今後も維持するために、全日制との連携が必要となる。

5 授業者の感想

本実践が、1人1台端末の本格活用の大きなきっかけとなった。どの学力層の生徒も主体的な学びを進めていた。結果として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」が身に付く。また、効果的に活用することで、まるでTTで行う授業のように指導できるため、本校に入学してくる生徒にマッチすると感じた。

III まとめ

授業実践では、1人1台端末の活用により、個々の学習スタイルに合わせた柔軟な学習が可能となった。自らのペースで学びを進められることは、あらゆる学力層の「主体的に学習に取り組む態度」を引き出すことができる。昨年度まで、“学び直し教材（東京書籍ラレボ）”のすべての問題を解き終える生徒がいなかったが、今年度は、解き終えた生徒が出ている。

また、抽象的な概念を視覚的に学ぶことができるため、小・中学校で理解できなかった問題を解けるようになるきっかけとなっており、1人1台端末の恩恵は大きい。本校における課題も見えたので、今後とも研修に励み、学校全体で推進していきたい。

このような研究の機会を与えていただいた定通部会の皆様に心より感謝申し上げ、今年度の調査研究報告とする。

イ 令和6年度(2024年度)定通部会 事業計画 (案)

● 北海道の事業計画 (案)

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和6年 5月15日(水)	◆北海道高等学校教頭・副校長会定通部会理事会 総会・研究協議会	ホテルライフオート札幌
2	5月15日(水)	◆北海道高等学校定時制通信制体育連盟幹事会	ホテルライフオート札幌
3	6月3日(月)	◆北海道高等学校定時制通信制教育振興会総会・ 研究協議会	ホテルライフオート札幌 当番校：北海道有朋高等学校
4	7月(予定)	◆第56回北海道高等学校給食研究協議会北海道 大会	内容：講演、研究協議 当番校：北海道札幌北高等学校
5	10月8日(火)	◆第68回北海道高等学校定時制通信制生徒 生活体験発表大会	内容：生徒生活体験発表(札幌市教育文化会館) 当番校：北海道有朋高等学校
6	令和7年 3月上旬	◆令和6年度調査研究部報告書発行 ◆「会報」発行	内容：調査研究「未定」

● 全国の事業計画 (案)

No.	期日	事業計画	会 場
1	令和6年 5月7日(火) ～8日(水)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 校長並びに教頭・副校長研究協議会	岩手県立杜陵高等学校(岩手県盛岡市) 場所：岩手県立杜陵高等学校
2	6月7日(金)	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第1回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)
3	6月13日(木) ～14日(金)	◆第76回全国高等学校通信制教育研究会総会 並びに研究協議会(全通研大会)	広島市(場所：JMSアステールプラザ・ 広島市文化交流会館)
4	7月25日(木) ～26日(金)	◆第75回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協 会総会・教育研究協議会(全教協大会)	場所：あわぎんホール(徳島県徳島市)
5	8月1日(木) ～2日(金)	◆第75回全国高等学校定時制通信制教育振興会大 会(全振大会)	京都市(場所：未定)
6	8月	◆令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会	東京都他
7	9月26日(木) ～27日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発 表会	弘前市(青森県立尾上総合高等学校) 場所：弘前市民文化交流館
8	10月24日(木) ～25日(金)	◆令和6年度第76回東北・北海道地区高等学校通信 制教育研究会総会・研究協議会(山形大会)	山形県立庄内総合高等学校(鶴岡市) 場所：東京第一ホテル鶴岡
9	11月17日(日)	◆第72回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験 発表大会	六本木ヒルズハリウッドプラザ(東京都)
10	12月	◆全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会 第2回全国常任理事研究協議会(全教協理事研)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)
11	12月5日(木) ～6日(金)	◆東北・北海道地区高等学校通信制教育研究会 教頭・副校長研究協議会	福島県立郡山萌世高等学校(福島県郡山市) 場所：福島県立郡山萌世高等学校

【編集後記】

定通部会における広報部の業務につきまして御理解・御協力いただきありがとうございます。おかげさまで、本年度の「会報」も無事発行の運びとなりました。編集発行にあたり、校務ご多用の中ご執筆いただきました校長協会定通部会長の阿部校長先生をはじめ、全道の副校長・教頭先生方にあらためて感謝申し上げ、編集終了のあいさつとさせていただきます。

〔北海道札幌月寒高等学校教頭 東 龍 徳〕